

会長就任あいさつ

帝京大学 医療技術学部
富田 博信



本年6月より、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の会長に就任致しました。このような責任ある重要な役職を拝命させていただき、大変光栄に思っております。田中宏前会長をはじめとする諸先輩方が築きあげてきた、本会の伝統と実績を重んじつつ、今後さらなる発展に向けて全力で取り組んでまいりたいと思っております。

就任するにあたり、3つのビジョンを示したいと思います。一つ目は、既存認定事業の継続、および学術セミナーを充実です。これにより県内外診療放射線技師の知識と技術の向上につなげます。

また、オンラインでの参加も可能なWebセミナーについても会員の利便性を考慮したうえ、継続実施したいと思います。二つ目は他団体との協業。かねてから、他団体との交流は行っていましたが、さらに連携を深めることで、本会の認知度の向上に寄与すると考えます。三つ目は、公益社団法人としての重要課題である、組織率向上です。今後の課題として、現在の約60%から70%まで引き上げることを目標とします。会員の皆さまにおかれましては、引き続き、本会事業につきまして、ご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

役員就任あいさつ

副会長



潮田 陽一

埼玉医科大学総合医療センター

近年は「コンプライアンス」と言っても、法令遵守だけでなく、倫理観、公序良俗などの社会的な規範に従い、公正・公平に業務を行うことを求められています。今までは大目に見てもらえたことも通用しなくなる場合があるので、情勢に取り残されないよう注視し、会の運営に反映できるように努めていきたいと思いをします。

副会長



城處 洋輔

埼玉県済生会川口総合病院

今期から副会長を務めさせていただくことになりました、済生会川口総合病院の城處（きどころ）です。2009年から学術委員として会務に携わり15年目となります。これまでの委員としての活動や学術と総務における理事の経験を活かし、会長のサポートをはじめ、会員目線に立った情報提供や会員同士のつながりを深められるような技師会運営を心掛け、会務を遂行していきたい所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

常務理事（総務）



今出 克利

大宮医師会

学術理事を2011年度より3年間、学術常務理事を2014年度より7年間、2021年度より2年間、総務常務理事を務め、今期も継続して総務を担当する今出です。公益社団法人として、本会の事業をスムーズに運営できるよう、八木沢常務理事や総務委員と協力して技師会運営を行ってまいりたいと思いをします。この3年間はコロナ禍ということもあり、なかなか思うような事業を展開することができませんでしたが、アフターコロナ時代を迎え、会員目線で皆さまが求めているものに対して、迅速に還元できるように心掛けたいと考えております。今後とも、会員の皆さまには、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

常務理事（総務）



八木沢 英樹

JCHO 東京蒲田医療センター

2023・2024年度 総務常務理事2期目を務めさせていただきます。コロナ禍でのイベントではWeb開催となっていました。アフターコロナに向かいつつある今日、対面でのイベントで会員の皆さまにお会いする機会が増えると思いをします。他施設の方と触れあえる場を設けられるように企画運営していきたいと思いをします。今出常務理事・総務委員と共に尽力してまいります。どうぞ、よろしくお願い致します。

本会の動き

常務理事（学術）



中根 淳
埼玉医科大学総合医療センター

謹啓、初夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私、中根淳は、このたび埼玉県診療放射線技師会の理事に再任致しました。素晴らしい機会をいただき、大変光栄に思っております。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられましたが、医療に携わるわれわれとしては、緊張感のある状況が続いていることを認識しております。そのような中でも、会員の皆さまや県民のかたがたに有益な情報を提供するための企画を試行錯誤しながら立案し、埼玉県診療放射線技師会の発展に全力を尽くしたいと強く願っております。

今後も、皆さまからのご指導とご支援をいただきながら、私たちの活動をさらに充実させてまいります。さまざまな課題に取り組みながら、より良い医療環境の実現を目指し、地域の皆さまに貢献してまいります。

ご多忙の中、この書状をもちまして就任のごあいさつとさせていただきますが、今後もより一層精進し、皆さまの期待に応えるべく努力してまいります。

常務理事（学術）



滝口 泰徳
JCHO 船橋中央病院

今期より、学術常務理事を務めさせていただくこととなりました、JCHO 船橋中央病院の滝口泰徳と申します。

5月8日より新型コロナウイルスも5類感染症となり、少しずつではありますが従来の暮らしを取り戻してきていると思います。学術事業におきましても必要な部分は従来の形に戻しつつ、便利なWebシステムも活用し会員の皆さまに有意義な企画を開催できればと考えております。

まだまだ若輩者で至らぬ点多いとは存じますが、今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

常務理事（編集・情報）



清水 邦昭
深谷赤十字病院

今期も引き続き、編集情報常務理事を務めさせていただくことになりました、深谷赤十字病院の清水邦昭と申します。前期では会誌発行会社の変更、e-bookの開始などさまざまな事業を行ってまいりました。

2期目となりますが、よりいっそう魅力のある会誌作りや、役立つ情報の多いホームページ作りを行ってまいりたいと思っております。

会員の皆さまには、今後も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

常務理事（公益）



佐々木 健
上尾中央総合病院

こんにちは、今期も公益常務理事を務めさせて頂く事となりました、上尾中央総合病院 佐々木健です。令和5年5月8日の新型コロナ感染症5類移行を受け、中止していた公益委員会事業を再開できる運びとなりました。コロナ禍では「放射線に関する講習会」「被ばく相談事例検討会」を行っておりましたので、その経験を従来からの活動に活かし、より良い公益事業を展開できればと考えています。

公益委員会活動は理事、委員ひいては会員皆さまのお力添えがあって成り立つものだと認識しております、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

本会の動き

理事（財務）



肥沼 武司

国立障害者リハビリテーションセンター

前年度に引き続き理事となります、肥沼です。前年度と引き続き財務を担当させていただきます。本活動は学術と異なり目立たない立場ではありますが、公益社団法人としての法人格を保つために、会員・理事の活動（財務官関係を含む）を記録として団体に提出証明します。

皆さまの活動が円滑に行えるよう、微力ながらお手伝いさせていただきます。2年間どうぞよろしくお願い致します。

理事（学術）



近藤 敦之

埼玉医科大学病院

第12回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会にて理事に選任されました。私は2021年から学術理事を務めさせていただいております。当時より新型コロナウイルスの影響により、多くの講習会がオンラインで実施されてきました。

今後は徐々に会場型の講習会も増えるかもしれませんが、これまでの経験を活かし、埼玉県診療放射線技師会の会員の皆さまが参加しやすい学術講習会を開催するために努力してまいります。

皆さまのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

学術理事



浅見 純一

行田中央総合病院

このたび、学術理事を務めさせていただく事になりました、行田中央総合病院の浅見と申します。これまで学術委員として2021年より厳しいコロナ禍で会務を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行された今、コロナ以前に「戻るもの」「戻らないもの」あるいは「戻したくないもの」が見えてきたと思います。会員の皆さまのニーズにしっかりと応えできるような企画を提供し、本会の発展に尽力してまいります。今後も引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。

理事（編集・情報）



吉田 敦

国立障害者リハビリテーションセンター

前期に引き続き編集情報理事を務めさせていただくことになりました、国立障害者リハビリテーションセンターの吉田敦です。

これまで会誌作成やホームページの充実、メールマガジンの配信を行ってまいりました。今期も清水常務理事を中心に編集情報委員会一丸となり有益な情報発信を努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

本会の動き

理事（公益）



紀陸 剛志
埼玉医科大学病院

公益委員の理事を務めさせていただくことになりました、埼玉医科大学病院の紀陸剛志と申します。これまで公益委員会では、放射線特別授業（3Dワークステーション人体解剖学体験）、メールによる被ばく相談など、主に地域のかたがたや中・高校生を対象に活動してきました。このコロナ禍で活動が制限されていた中でも、会員を対象としてWebを活用した講習会を開催するなど、公益委員と力を合わせてきました。今後は、これまで以上に幅広く活動できるよう、努めていきたいと考えております。

会員の皆さま、県民のかたがたのために一生懸命頑張りたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

理事（総務）第一支部



佐藤 吉海
さいたま市立病院

今期、新しく第一支部理事を務めさせて頂く事となりましたさいたま市立病院の佐藤と申します。診療放射線技師として20年勤務してきましたが、新たに理事として務めさせて頂く事に身が引き締まる思いです。

新型コロナウイルスの位置づけが5類感染症へと移行するなど医療情勢が日々移り変わる中、どのように皆さまに有益な情報を発信することができるのか模索しながら取り組んでいきたいと思っております。

微力ではありますが、会員の皆さまのご支援とご協力をいただきながら精励してまいります。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

理事（総務）第二支部



大西 圭一
所沢ハートセンター

第2支部理事を担当させていただく大西です。

学術大会や勉強会は「対面のみ」「Webのみ」「Hybrid」と開催方式が多様化して参加者には多くのメリットを得ることができました。「入会促進、人材発掘、会員の意識向上」は対面が重要であると考えています。役員と協力し2支部を発展させていきたいと考えています。

第2支部の代表として県技師会に貢献できるよう務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

理事（総務）第三支部



大友 正人
埼玉医科大学病院国際医療センター

このたび、第三支部の理事を務めることになりました、埼玉医科大学国際医療センターの大友正人と申します。

新型コロナウイルス感染症に対する対応が日々変化している中、どの様に支部の活動を行っていくのか、魅力ある内容の勉強会や親睦会を開催するにはどうしたらよいかを思案し、支部役員一丸となり第三支部を盛り上げていきたいと思っております。会員の皆さまの支部活動への積極的な参加を心よりお待ちしております。精一杯務めさせていただきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

本会の動き

理事（総務）第四支部



大野 渉
羽生総合病院

支部理事を担当して3期目となりました、羽生総合病院 放射線画像診断科の大野です。
今年度はコロナウイルスによる制限も緩和され始め、勉強会はWebにてもう少しばかり行いますが、公益事業である健康まつりへの参加も再開の予定です。

全てをコロナ禍以前の活動内容に戻していくかは、執行部で慎重に検討していく予定ですが、より実りある支部活動になるよう、粉骨砕身頑張っていきたいと思っております。
どうぞよろしくお願い致します。

理事（総務）第五支部



矢崎 一郎
春日部市立医療センター

今期も皆さんにご意見をいただき、いろいろなことを教わりながら進んでいきたいと思っております。
人の交流がようやくできるような環境になってきています。顔が見える機会を多く作っていきたくと考えています。

今後ご協力、お付き合いをお願い致します。

理事（総務）第六支部



仲西 一真
上尾中央総合病院

上尾中央総合病院の仲西一真と申します。

このたび、2023年度より、第六支部理事を務めさせていただきます。皆さまには、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年から続いたコロナ禍で、自施設以外の方とお会いする機会は激減しました。しかし、現在では、新型コロナウイルス感染症が第5類相当となり、支部役員会議を数年ぶりに集合して行うことができました。

今後の支部開催の講習会も、現地集合型に切り替えて開催する方針です。

どのような支部運営が最適か、皆さまの意見を反映しながら尽力してまいりたいと思っております。

監事



田中 宏
埼玉県立小児医療センター

今年度より監事として任命を受けました。

富田会長をはじめとする、新執行部は機動力もあり、県民への公益事業や会員育成に向けた新たな企画が期待できる最強のメンバーです。

監事として全力でフォローしていきますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

本会の動き

監事



浅野 克彦
衆議院第一書記

継続して幹事を務めさせていただきます。これまで、理事会や総会、学術大会などに参加させていただき、会員のスキルアップや診療放射線技師の地位向上に向けた議論と活動を間近でみてまいりました。社会に貢献する公益活動としての放射線特別授業など、素晴らしい実績もあります。もっと多くの県民の皆さまに知っていただけるよう、医療では素人ではありますが尽力致します。皆さまのご協力もどうぞよろしくお願い申し上げます。

顧問



小川 清

このたび、顧問に推挙されました小川清です。1952年生まれ、体は特に問題なく動いておりますが、年々体力は低下している印象は拭えません。仕事は一部を残して終了し、軸足を町内会に移し、会長および自治統括員として忙しい日々を送っております。本会に長く係わってきた者として、幾ばくかの関わりを持つことはうれしい限りです。微力ですがよろしくお願い致します。

顧問



鈴木 正人
埼玉県議会議員

2023年度、2024年度も引き続き顧問をさせていただくことになりました。

私は医療に関しては素人であり、埼玉県診療放射線技師会の先生方にご教授いただきながら県政に反映していくと同時に、技師会の公益事業で微力ながらお手伝いできればと考えています。

役員退任あいさつ

第一支部理事（総務）



双木 邦博
さいたま市立病院

このたび、役員改選にて第一支部理事を退任することとなりました双木です。就任した当時は、12年間も理事を務めるとは思っておりませんでした。これも会長をはじめ理事の皆さま、支部役員の皆さまのご指導によるものと感謝致しております。

技師会に入会して2年目で理事となり、技師会活動など全く分からない状態で、前任の八木沢理事に支部の運営などをいろいろと教えていただきながら何とか務めてまいりました。技師会活動では学術大会や健康まつりなどの運営を行い、自分自身少しは成長できたと実感することができました。

支部役員および支部会員の皆さまには、至らぬ点もあったと思いますが、支部理事の任を全うできたのは皆さまのおかげだと思っております。今後も埼玉県診療放射線技師会ならびに第一支部へのご協力をいただけますようお願い致します。長きにわたりご協力いただき、ありがとうございました。

第三支部理事（総務）



市川 隆史
埼玉医科大学病院

このたび、役員改選にて第三支部理事を退任することになりました。短い期間でしたが埼玉県診療放射線技師会の仕事に携わる機会をいただきありがとうございました。田中会長をはじめ、理事の皆さまの丁寧なご指導に感謝申し上げます。

年間事業においては新型コロナウイルス感染対策の為、以前は開催できていた催しも、中止や自粛せざるを得ない状況の中、支部役員、会員の皆さまに支えていただきながら、勉強会をWeb形式で開催することができましたこと本当に感謝申し上げます。

支部理事として例年通りの活動ができない中の退任で申し訳ない気持ちですが、今後の活動に期待して、次の新理事にバトンタッチしたいと思います。

今年度からの第3支部新理事は、埼玉医科大学国際医療センターの大友正人さんに引き継いでいただくことになりました。新型コロナウイルス感染症が5類となり勉強会以外の年間行事も次第に開催できるようになると思います。支部会員の皆さま、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。今まで本当にありがとうございました。

本会の動き

第六支部理事（総務）



茂木 雅和
上尾中央総合病院

第六支部理事の任を2019年度より4年間務めさせていただきました。就任当初は、前任の山口より引き継がれた支部活動を多くの所属会員に広報して、多くの施設の方に勉強会などの催しに参加していただきたいという思いでした。しかし、この4年間はCOVID-19の影響で活動が停止し、思うように活動ができなかった事をとて残念に思っています。

反面、Zoomを用いた勉強会では、全国の診療放射線技師のかたがたが聴講してくださり、参加者が県内90人（うち、支部57人）、県外74人の合計164人となりました。これらは支部役員のみではありませんが、全国の診療放射線技師の学びたいと思っていることを改めて実感した次第です。このような会を開けたことを、自分の中での大切な記憶として今後の糧にしたいと思います。

短い時間ではありましたが、支部理事の任を全うできたのは、理事の皆さま、支部役員、会員の皆さまのおかげだと思っております。今後は、一会員として埼玉県診療放射線技師会と共に成長していきたいと思っております。皆さまに感謝を申し上げて退任のあいさつとさせていただきます。

監事



堀江 好一

このたび埼玉県診療放射線技師会での25年間の従事を終え、退任することとなりました。理事、常任理事、副会長、そして監事としての役職に就きながら、医療現場の発展と技術の向上に尽力してまいりました。皆さまとの出会いや意見交換を通じて、多くの学びを得ることができ、また、困難な課題にもチャレンジしながら成果を上げることができました。

この経験と知識を生かし新たな道を歩む覚悟を持ち、さらなる成長を目指してまいります。

長い間、ありがとうございました。

今後の皆さまのご健勝とご活躍を心より祈念致しております。

事務局長



結城 朋子
埼玉県済生会川口総合病院

2023年度 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
常務理事（総務）今出 克利

2023年5月28日（日）、埼玉会館7B会議室において「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー（SARTセミナー）」が開催されました。新人診療放射線技師を対象にした本セミナーは、埼玉県診療放射線技師会がSARTセミナーとして企画し、運用を開始してから24回目の開催となりました。近年では、日本診療放射線技師会と埼玉県診療放射線技師会との共催により例年5月に開催しています。

今年度は、3年ぶりとなる会場集客型として開催することができました。開催に際しては、日本診療放射線技師会より示された「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた本会主催の講習会などの対応について」に準じて感染対策を講じました。

リクルートスーツに身を包んだ新人の診療放射線技師42人に参加して頂きました。田中会長のあいさつに始まり、朝から夕方まで濃密な講義が行われました。埼玉県開催の特徴として、JART指定の講義とは別に、臨床技術に則した講義（一般撮影、消化管撮影、CT、MRI）が含まれており、撮影法だけでなく読影力向上に向けた内容を講義しています。多くの受講生が真剣な眼差しで講義を受け、メモを取っている姿が印象的でした。

最後になりますが、参加者およびセミナー開催に尽力いただきましたスタッフの皆さまに感謝するとともに、講師の皆さまには日々の臨床業務が大変な状況であるにもかかわらず、講義資料およびスライドを作成して頂きまして、ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



【埼玉県診療放射線技師会 田中会長】



【講義風景】